

Re: Re: Re: L-8i 乾熱運転温度測定結果について

2020年4月25日 13:48

返信先: [REDACTED]
To: Tsuyoshi Takada
Cc: [REDACTED]

高田 様

お世話になっております。

ご質問の件、返信致します。

下記に赤字でコメントさせていただきます。

よろしくお願い致します。

大川原化工機
[REDACTED]

----- Original Message -----

From: Tsuyoshi Takada [REDACTED]
To: [REDACTED]
Cc: [REDACTED]
Date: 2020/4/25, Sat 11:54
Subject: Re: Re: Re: L-8i 乾熱運転温度測定結果について

[REDACTED]様、お世話になります。

昨日撮影いただいた動画を拝見しております。
いくつか教えて下さい。

熱風の通り道は概ね、1→4→5→8→9→10
でよろしいでしょうか。
→はい。そのような風の流れです。

6（測定口）は温度が上がっていませんが、
微生物を微粒化した場合、この部分に粉体が入り込むこともありますか？

→はい。粉体は入り込みます。

風の流れないところなので温度が高くなり難い箇所になります。

また、6に粉体が入り込むことがある場合、ここを滅菌しないと
次回使用時に成果物にコンタミが生じることになるように思いますが
この認識で合っていますか？

→はい。分解して洗浄が必要な場所になるので、コンタミの発生する

場所となります。

また、もしこの認識であっている場合、L8iの内部で、6のようなスポットは他にも存在しますか？

→No.2 熱風出口温度が同じ様な構造です。

温度センサーを取り付けるためのパイプとなっています。

他方、9・10は、ここを滅菌できなくても

次回使用時の成果物にコンタミが生じることはなく、

微生物の微粒化を繰り返し行ううえで、問題はないという理解で合っていますか？

→今回、テストをしたL-8iの構造では、乾燥した粉体はサイクロンでの

回収となるのでサイクロン以降のNo.8～No.10は回収される粉体には影響がありません。

但しサイクロンでの粉体回収量は90%前後となるので医薬品など高価な

原料をスプレードライヤで粉体にする場合や、屋外（大気）に排出すると問題になる原料の場合にバグフィルタなど2次的に回収装置を追加し行うことが多いです。

[元のメッセージ非表示]